

4種混合ワクチンを受けた後に注意すること



接種当日は、激しい運動は避けて、
注射部位を清潔にしておいてください。

接種当日は入浴しても差し支えありませんが、
接種部位はこすらないようにしましょう。

注射後に注射部位が赤く腫れたり、痛んだりすることがありますが、
通常2～3日で治ります。もし、高熱やけいれん、
腕全体が腫れるような異常反応や、体調の変化があれば、
すみやかに医師の診察を受けてください。

まれに30分以内に急な副反応が起こることがありますので
様子を観察し、医師とすぐに連絡がとれるようにしておきましょう。

次回注射するときには、できるだけ前回と反対側の腕に
受けることが推奨されています。

その他、何かご心配なことがありましたら、
ご相談ください。



健康にアイデアを

meiji

Meiji Seika ファルマ株式会社

健康にアイデアを

kmb

KMIバイオロジクス株式会社

QC000304[®]
(SW)
作成：2023.2
1M-24Y

2023年4月1日～

2か月になったら、 4種混合ワクチンの 接種を受けましょう!



なぜ4種混合ワクチンを早く接種した方がいいのですか？

- 予防接種の接種対象年齢は、その病気にかかりやすい時期を考慮して、より接種が望ましい時期に決められています。
- 『4種混合ワクチン』を決められたスケジュールに沿って接種すると、百日せき、破傷風、ジフテリア、ポリオの4種類の病気を予防することができます。



ポリオは日本では発生していないのに、 予防接種が必要なのはなぜですか？

- ポリオは口から感染し、感染した人の中で、100人に1人未満の割合で手足のマヒを起こします。一部の人には一生マヒが残り、呼吸困難などで死亡することもある病気です。
- パキスタン、アフガニスタンなどでは今でもポリオが流行しており、ポリオワクチン接種の取り組みが強化されています。万が一、国内に持ち込まれることに備え、ワクチンでしっかりと基礎免疫(発病を抑えるのに必要な抵抗力)をつけていくことが大切です。



監修 川崎医科大学小児科学 主任教授 中野 貴司 先生

このワクチンで、ポリオ以外に予防できる病気について教えてください。



百日せき は

咳やくしゃみで感染します。最初はかぜのような症状ではじまりますが、だんだん咳がひどくなり、乳幼児では咳で呼吸ができず、命に関わることもあります。



ジフテリア は

咳やくしゃみで感染します。高熱、のどの痛み、咳などの症状が出ます。また、のどが腫れるなどして、窒息死することもあります。

破傷風 は

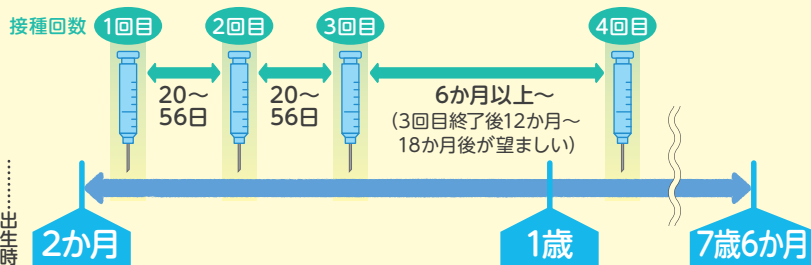
土の中にひそんでいる破傷風菌が傷口から感染して起こります。菌が体の中で増えると、その毒素のために、けいれんを起こしたり、死亡することもあります。



4種混合ワクチン接種はいつ受けたらいいですか。

- 推奨されるスケジュールは生後2か月から12か月までに20日以上、標準的には20日から56日までの間隔において3回、3回目終了後6か月以上あけて4回目を接種します。

接種が定められている年齢



予定日を書いてみましょう。

1回目 2回目 3回目 4回目

月 日 月 日 月 日 月 日

病気に対する免疫(発病を抑えるのに必要な抵抗力)をきちんとつけるために、4回しっかり接種する必要があります。



4種混合ワクチンが受けられない人



このワクチンを受けられない場合は

- 37.5℃以上の発熱がある人。
- 重い急性の病気にかかっている人。
- 過去に4種混合ワクチンの成分で、アナフィラキシー*を起こしたことがある人。
- 医師が予防接種を行うことが不適当だと判断した場合。



*アナフィラキシー

- ・全身性のアレルギー反応で、通常、接種後約30分以内に起こることが多いです。
- ・汗がたくさん出る、顔が急に腫れる、全身にひどいじんましんが出る、はきけ、嘔吐、息が苦しいなどの症状に続きショック状態になるような、激しい全身反応です。